

大都会・岡山都市圏の理想の交通 車1割削減・渋滞半減・公共交通2倍

RACDA 設立 30 周年記念
1995 年～

都市交通フォーラム2026



2月11日(水) 13:30～16:30

山陽新聞さん太ホール

資料代 500 円
学生無料

岡山市北区柳町2丁目1-1 岡山駅徒歩15分(市役所筋を南) バス5分(「山陽新聞社前」)

■RACDA は 1995 年 10 月に岡山商工会議所の「都心 1km スクエア構想」(コンパクトシティの嚆矢)を受け、路面電車の環状化と都市交通の充実を目指して設立されました。1997 年の第 3 回全国路面電車サミット岡山を契機に、RACDA は地元岡山では様々なジャンルの市民団体と連携する「ローカルシンクタンク」、全国では路面電車ネットワークやバスマップサミット、国会議連などと連携した「ネットワークシンクタンク」となりました。Rail & road transportation system, Amenity & Community Design Association. 都市の未来には地域社会の再構築とアメニティが必要、成熟した市民社会のあるべき姿を模索しています。

■ここに RACDA 創立 30 周年を迎え、地方の政令市・中核都市などの都市圏の交通を再構築すべくフォーラムを開催いたします。2 年前開業した新設の鉄軌道・宇都宮市のライトラインの街づくり効果、TSMC 進出で「車 1 割削減、渋滞半減、公共交通 2 倍」に取組む熊本市の事例をご紹介します。岡山駅から 8 方面に JR 線が伸びる岡山都市圏の交通まちづくりを論じます。

基調講演1 矢野公久氏 (宇都宮市建設部長、LRT 担当)

「宇都宮・ライトライン誕生までの軌跡」

基調講演2 太田恒平氏 (トラフィックブレイン代表取締役)

「車1割削減、渋滞半減、公共交通2倍を熊本から岡山へ」

対談 会長・岡将男、ゲストスピーカーを交えて、岡山都市圏の公共交通分担率を15%にする方策を熱く語ります。

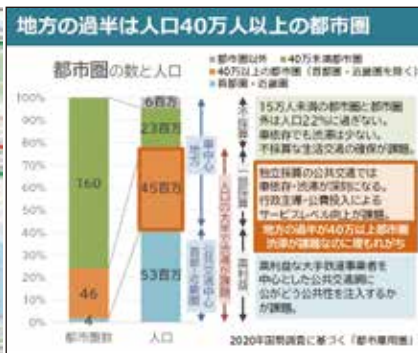
環状化・吉備線・赤穂線・瀬戸大橋線・ランデブー拠点・アリーナとスタジアム・地価・コンパクト&ネットワーク・送迎人生

宇都宮・ライトライン 2023 年開業時



矢野公久氏 (やのまさひさ) 1966年生まれ、昭和63年4月宇都宮市入庁、平成15年4月以来総合政策部交通政策課、栃木県派遣新交通関係、LRT導入推進室など3つの課・係で一貫して宇都宮ライトレール推進を担当。平成27年4月建設部LRT整備室室長、平成30年4月建設部次長(LRT担当)、令和2年4月建設部次長、令和4年4月建設部参事(LRT担当)。令和5年4月(現職)建設部部長、同年8月26日に開業を経験。

太田恒平氏 (おおたこうへい) 1983年生まれ、東京大学にて交通、空間情報の研究の後、2009年にナビタイムジャパンに入社。2017年に起業し、交通のデータ分析・コンサルティングを行っている。バス交通情報の標準化(GTFS)・オープンデータ化、バスの遅れを半減させる「Diabrain」の開発など、バスのサービス改善を中心に取組み、現在熊本で「車1割削減、渋滞半減、公共交通2倍」を目指した研究PJを実施中。交通MITがライフワーク。地域公共交通総合研究所研究員。



フォーラム後、杜の街フードコートで懇親会も予定しています。
会費 5000 円程度 現地集金、領収書のため名刺 1 枚をご用意下さい

主催 NPO 法人・公共の交通ラクダ (RACDA) →

〒700-0803 岡山市北区丸の内 1-1-15 禁酒会館

杜の街・さん太ホール

申込先 peatix



問合せ 090-3743-4778(岡) okj165@poppy.ocn.ne.jp FAX 086-224-0537